

新学習指導要領の円滑な実施に向けた支援策

平成21年度予算額（案） 20,948百万円
（平成20年度予算額 10,267百万円）

(1) 指導体制整備 5,795百万円（2,898百万円）

- 退職教員等外部人材活用事業－サポート先生の配置－
教員が子ども一人一人に向き合う環境をつくるとともに、新学習指導要領の先行実施における理数教科の授業時数の増に対応するため、退職教員や経験豊かな社会人等の配置を14,000人（週12時間換算）に拡充（1/3 国庫補助）

(2) 教材整備事業 2,000百万円（1,320百万円）

- 理科教育等設備整備費補助 2,000百万円（1,320百万円）
- 新学習指導要領の円滑な実施のための教材整備緊急3ヵ年計画（平成21～23年度）
（予算額（案）とは別途、平成21年度分として816億円、3年間の計画総額として約2,459億円の地方交付税措置）

(3) 道徳教育の充実 1,336百万円（658百万円）

- 道徳教育用教材活用支援事業 800百万円【新規】
 - ・道徳教育用教材（読み物資料）に対する新たな財政支援を試行
- 道徳教育実践研究事業等 226百万円（258百万円）
 - ・道徳教育の指導内容や指導方法、指導体制等に関する調査研究を実施
- 「心のノート」活用推進事業 310百万円（400百万円）
 - ・新学習指導要領の趣旨を踏まえ改訂した「心のノート」を引き続き印刷・配布

(4) 体験活動の充実 1,050百万円（972百万円）

- 農村漁村におけるふるさと生活体験推進校 1,050百万円（972百万円）

(5) 算数・数学、理科教育の充実 6,340百万円（4,483百万円）（再掲含）

- 移行期間中の補助教材の作成・配布 1,311百万円【新規】
 - ・移行期間中に指導内容が追加される算数・数学、理科について教科書に準拠した補助教材を作成・配布
（平成20年度補正予算（1次）に1,317百万円を別途計上）
- 理数教育の支援 3,029百万円（3,163百万円）※運営費交付金中の推計額
 - ・理科支援員や理数系教員対象の研修に対する支援等の活用
- 理科教育等設備整備費補助（再掲） 2,000百万円（1,320百万円）

(6) 外国語教育の充実 900百万円【新規】

- 小学校の外国語活動の導入に向けた条件整備 410百万円【新規】
 - ・英語ノート、音声教材、教師用指導資料の印刷・複製・配布
 - ・教材の効果的活用及び評価に関する実践研究 等
 - 英語教育改善のための総合的な教育システムの構築 443百万円【新規】
 - ・英語教育改善のための調査研究（研究開発学校）
- 等

※ 平成20年度予算額には前年度限りの経費を含む

(7) 中学校武道の必修化に向けた条件整備 4,951百万円（ 641百万円）

- 中学校における武道の必修化の完全実施(H24)に向け、必要な条件を整備
- 安全・安心な学校づくり交付金(公立中学校武道場整備分) 4,026百万円【新規】
(中学武道場新築：補助率 1／2)
 - 私立学校体育等諸施設整備費補助 73百万円(73百万円)
(中学武道場新築（補助率 1／2）を含む)
 - 中学校武道必修化に向けた地域連携指導実践校 494百万円【新規】
 - 地域スポーツの人材の活用実践支援事業 358百万円(515百万円)
 - 地方交付税交付金において、武道用具等の購入に要する経費を措置（再掲）

(8) 情報モラル教育の推進 70百万円【新規】

- 学校における情報モラル等教育の推進 70百万円【新規】

(9) 環境教育の充実 85百万円（ 55百万円）

- 環境教育に関する調査研究等 85百万円（ 55百万円）

(10) 安全教育・食育の推進 68百万円【新規】

- 安全教育・食育の推進 68百万円【新規】

(11) その他 353百万円（ 613百万円）

- 学力向上支援事業 121百万円（ 215百万円）
- 新学習指導要領の周知 232百万円（ 398百万円）
 - ・高等学校の新学習指導要領の解説の作成、説明会の開催等
 - ・特別支援教育指導資料の作成、説明会の開催